

## 平成30年度 第2回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	平成31年2月19日
招集場所	日南町役場防災会議室
開会	午後3時00分 教育長
出席委員	中村町長 丸山教育長 須田教育委員 中村教育委員 長谷川教育委員 中島教育委員
欠席委員	
オブザーバー	木下総務課長、安達教育次長、伊田日南小学校長 黒見日南中学校長、田辺保育園長、村上室長、福田室長

議事日程		議事の経過
議事の経過		
日程その他	発言者	発言の要旨
協議	教育長 町長	<p>開会</p> <p>総合教育会議のなかで、ここの席に座るのは初めてだが、それなりの重みを感じるし、改めて考えるところもある。町長だからどうこうではなく一緒になって考えていくことが大切だと思っている。個人的にこれから重視していきたいのは、教育と防災である。総合教育会議では、ざくばらんに話ができるいいと思っている。職員にも同じことを言っているが、一つ目は情報を共有してほしい。二つ目は報・連・相のときに最後は報告にして頂きたい。三つ目は明るい職場にしてほしい。それは、暗い気持ちで仕事をしてもいい仕事はできないということからである。教育現場も同じような課題をかかえておられると思う。私も教育現場について理解しながら更に進めていきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。ふるさと教育について三町の町長と高校生に対してしたいと話している。これから模索していくのでご承知おきをお願いしたい。</p>
	教育長 教育委員	<p>教育委員から何かあればお願いしたい。</p> <p>重箱の隅をつつくのではなく、高いところでの議論がこの会でも必要と思う。小中一環教育が日南町独自の教育施策であるが、中学校の保護者アンケート結果で、小中一貫教育が進んでいるかという設問に</p>

	について、「進んでいない」「あまりあてはまらない」が7割り近くあった、小中一貫教育の再周知が必要。「小中一貫教育実践校」、校訓の「生き抜く力」ということを中学校の体育館の外壁に書いてみてはどうか。本気の提案である。小中一貫教育の意義を今更ながら確認してほしい。
町長 教育委員	重点目標等あるが、具体的にどうしたいかを明確にすべき。 町長が言われるよう、着地点を明確にというのは、ご尤もと思う。
町長	5万人の市にも、4500人の日南町にも、同じ数の会議がある。整理統合しないと、会議で時間をつぶしてしまう。統合すべきは統合するという方針が必要ではないか。
教育委員	教育方針を作るだけでも、これだけのものを作り、評価して、文章化してという話になると、ここまでいるのかなと思う。それよりも、最後のところ、実際子ども達と向き合ったところを厚くすることが大切。役場でも新しいアイデアを出して、何か削ったか尋ねても削っていない、切ることや統合も大切。
町長 教育委員	日南バージョンで一本化しないと、先生と子どもが触れ合うことが一番子どもを知る近道。放課後子どもとかかわる時間がどれだけあるか。教育委員会事務局から、あれこれ提出を求められたら、学校現場は大変。事務局も県から言われる。悪循環である。
町長 教育委員	学校の目標をもとに、具体的にどう関わったら効率的か、何もかも全てではなく焦点をあててやらないといけないのでは。
町長 教育委員	ふるさと教育では、最初から最後までどっぷり日南町に居れ、残ったからいい子、出たから悪い子ではなく、帰れる町を作れたか作れないかだと思う。
町長 教育委員	ふるさと教育の継続が高校で途切れているので、継続する形をとりたい。
町長 教育委員	明るい職場作りについてだが、行政職員にも教職員にも一部、暗いと感じるところがある。何かがあるから暗い顔なり、態度なりなるのだと思う。面談や、町長や教育長の声かけも大事。
町長 教育委員	お互い声もかけれない職場でいい仕事ができるわけない。副町長時代は全職員に面談をしてきた。みんなで子どもを育てるという観点がかつてはあったと思う。これから、家庭や学校だけでなく、みんなで育っていくという視点が大切。
町長	地域の人との関わり方の中身について整理する必要があるのではないか。子ども達の目線で、何に興味があるのか、何を伝えていったらいいのか、これから積み上げていく必要があるのではないか。

教育委員	多里の取組みの通学合宿について、卒業生に聞くと、これは継続してほしいと言うと聞いている。こうやって上下ではなく対等に、それぞれのよさの中で、子育てがなされないかなと思う。
町長	重要なことだと思う。地域の人と顔が知れるということが効果があると思う。
教育委員	福栄は宿泊体験の影響で、Uターン率が高いのではないかと思う。宿泊先の人に、相談に行ったりなど、良い現象があるようにも聞いている。
町長	教育分野は評価がしにくい。評価がしにくいから、やり方がわかりにくいという面もあるかもしれないが、そこは専門家であるみなさんが決めてやって頂きたい。地方の魅力を感じられる人を作っていくなくてはいけない。小中学校の成長期の中で、思い出が作れるものがあれば、ふるさとということを感じてくれるのではないかと思う。
教育委員	情報を発信して頂いて、町全体に広げていくようにして頂きたい。
町長	町ホームページに、日南小中学校もリンクしているので、新着情報にどんどん入れてほしい。
教育委員	日南町の教育の構想はどうなっているか思うことがある。日南町の教育が同じところに向かいながらそれぞの役割をはたすようにどのように捉えたらいいかとこの頃思う。
町長	目標は既にできているが、深堀りはできているかどうか。できる範囲の中で、ひとつひとつ目標ができているので、具体的な行動を作っていくというところが大事ではないか。
教育委員	シアトル派遣事業は、とてもいいことだと思った。継続してほしい。とにかく楽しい学校にしてほしい、明日も学校に行きたいと思えるような学校がいい。
教育長	中学校、小学校、保育園から意見があれば頂きたい。
中学校長	何々教育と名の付くものは山ほどあって、国から降るように、あれも頑張って、これも推奨してというものがある。学校の方針として取り組んでいきたいということを示してはいるつもりだが、その中で、今の日南中の課題になること、将来の日南町を作っていくために必要な教育を重点化して取り組んでいきたいと思っている。長年の課題である学力向上や、ふるさと教育を2本柱にして、継続的に積み重ねていこうということでやっている。地域柄、高校生が通学で外に出て行くことが多いので難しい面があるが、中学校で経験してきた生徒達に良いチャンスが与えられれば動いてくれそうな種まきは出来つづある気はしている。いろいろな活動の見直し、統合が学校も必要だと思う。目標や意義が薄れて、やることが目的になっているということが多分にある。生徒の活動や、PTAの活動についてもそうであるの

小学校長	で、どんな目的であるのかということが大切。 小学校は統合 10 周年になるが、保小中一貫ということを受け止める気持ちが、みんなが違っているために起こっていることがある。これからは、目標値を合わせる取組みが必要である。小学校は、保小の連携と、小中の連携があるが、まだまだ不十分であるが、モデルが無くてみんなが右往左往している。目標を合わせたり、小学校の役割は何なのか、保育園と一緒にやるということがどういうことなのかということをみんなで考えたい。地域との連携についても、保小中一貫として地域との連携のあり方をみんなで積み上げていく必要がある。
保育園長	保育園では、「人」と「自然」をキーワードとしている。地域の方にはボランティアで大変お世話になっている。保小中の連携がもっと目に見えるように、ご指導頂きながら進めていきたい。
町長	次回は 5 月か 6 月頃には開催して、小学校・中学校・保育園のこれだけはやりたいという今年の目標を提案して頂きたい。また、あいさつの順番は、誰もが自分から先にするという指導をしてほしい。ここ のメンバーは物事を決められるメンバーだと思うが、上になればなるほど、謙虚であってほしい。しっかりと周りの人の意見を聞かないと、判断ができない。間違った判断をしてはいけないので、できるだけ情報を共有していきたいので、どんどん情報を発信したり伝えたりしてほしい。
教育長	以上で平成 30 年度第 2 回総合教育会議を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員